

平成21年度第1回理事会議事録

日 時 平成21年4月8日(水) 14:00～

場 所 日本体育協会 理事・監事室

出席者 <理事>

森会長、佐治副会長、森副会長、監物副会長、岡崎専務理事、
泉常務理事、尾崎常務理事、板屋越、小林、斉藤、坂本、相良、
篠宮、竹下、竹田、田中(道)、常山、不老、松田、山本、渡邊の
各理事

<委任>

神尾、田中(敏)、樋口、福島、御手洗の各理事(議長に委任)

<監事>

片岡監事、中村監事

理事総数26名、うち出席21名、委任5名、計26名で寄附行為第32条に基づき理事会成立。

議事に先立ち、今回より出席の理事の自己紹介を行った。

議 案

第1号 日本スポーツマスターズ2011開催地(石川県)の決定について

(岡崎専務理事)

平成23年開催の「日本スポーツマスターズ2011」大会の開催について、関係先と種々調整を行ってきた結果、石川県及び(財)石川県体育協会から開催申請書が提出された。各競技会の会場については、今後、実施競技団体の意向を踏まえ、調整していくこととしている。また、会期についても、平成23年度の国民体育大会、全国スポーツ・レクリエーション祭等、国内主要行事の日程等を勘案し、石川県と協議していきたいと考えている。

本件については、3月23日付で日本スポーツマスターズ委員会委員に文書提案を行い、3月31日付の回答日をもって、全員の了承を得ていることから、日本スポーツマスターズ2011の開催地として石川県の決定したい旨を諮り、満場一致で承認された。

決定後、森会長から石川県谷本知事へ開催決定書が手渡され、谷本知事より謝辞が述べられた。

第2号 参与の委嘱について

(森会長)

参与については、寄附行為第30条第6項により、理事を退任された有賀豊文氏、臼井秀明氏、小関洋治氏、落田真一氏、久保田文也氏、鈴木洋一氏、中内桂郎氏、古川徹氏、また、監事を退任された市川正氏の9名を委嘱したい旨を諮り、これを承認。

第3号 学識経験評議員の委嘱について

(森会長)

学識経験評議員については、寄附行為第28条第3項に基づき、これまで同様、坂田敬一氏、小野清子氏、梅村清弘氏、帖佐寛章氏、日枝久氏、日比野弘氏、福山信義氏、松本好雄氏、下重暁子氏の9名を委嘱したい旨を諮り、これを承認。

第4号 第12回秩父宮記念スポーツ医・科学賞受賞者について

(岡崎専務理事)

受賞候補者の選考にあたっては、秩父宮記念スポーツ医・科学賞選考委員会のもとに、スポーツ医・科学の各分野から9名の学識経験委員によって構成した作業部会を設置し、その作業部会員ならびにスポーツ医・科学専門委員会委員に、功労賞及び奨励賞の候補者の推薦を依頼した。その後、作業部会において候補者の絞り込み作業を行い、今回は功労賞1名、奨励賞1グループが選考委員会に推薦された。

この作業部会からの推薦に基づき、去る3月16日に秩父宮記念スポーツ医・科学賞選考委員会を開催し、功労賞については、順天堂大学名誉教授の青木純一郎氏を選考した。その主な理由としては、「中年における運動の効果に関する研究」、「思春期前の子どもの全身持久性のトレーニングに関する研究」を通して、子どもから高齢者に至るまでの体力問題に最も精通している研究者であるとともに、高地トレーニングに関する研究の成果が我が国の低酸素施設に応用されていることなどが評価された。

奨励賞については、北京オリンピックのソフトボール女子日本代表チームを、打撃動作の科学的分析、体力測定に基づいたトレーニングの実践、ライバル国の情報分析など、多岐にわたる医・科学的なサポート活動を行い、金メダル獲得に貢献した「ソフトボール女子日本代表チームへの医・科学サポートチーム(代表 平野裕一氏)」を選考した。

以上のとおり資料に基づき説明し、功労賞として青木純一郎氏を、奨励賞として「ソフトボール女子日本代表チームへの医・科学サポートチーム」を受賞者に決定することについて諮り、これを承認。

その他 本会職員労働組合との交渉権、妥結権について (岡崎専務理事)
本会職員労働組合から出される春闘及び各要求項目について、その交渉権と妥結権を会長及び岡崎専務理事に一任願い、今後の交渉を取り進めたいと諮り、これを承認。

報告事項

1. 会務関係

(1) 副会長、専務理事及び常務理事の分掌について (森会長)

副会長、専務理事及び常務理事の分掌について、次の業務区分で取り進めることとなった旨を報告。

佐治副会長	・ 総務に関する事項
森副会長	・ 生涯スポーツに関する事項 ・ スポーツ少年団に関する事項
監物副会長	・ 指導者養成に関する事項 ・ 広報・スポーツ情報に関する事項
岡崎専務理事	・ 財務に関する事項 (含む、国民スポーツ推進キャンペーンに関する事項) ・ 諸事業の企画に関する事項 ・ 職員労働組合に関する事項
泉常務理事	・ 国民体育大会に関する事項 ・ スポーツ医・科学に関する事項
尾崎常務理事	・ 加盟・栄典に関する事項 ・ 国際交流に関する事項

(2) 各委員会委員長について (森会長)

去る3月25日開催の新理事会にて会長に一任されていた、各委員会委員長等の人選について、次のとおり報告。

諮問委員会	総合企画委員会	岡崎助一専務理事
	・ 財務部会	岡崎助一専務理事
	・ 企画部会	篠宮稔理事
	・ 加盟・栄典部会	尾崎宏常務理事
	国民体育大会委員会	泉正文常務理事
	・ 国民体育大会競技運営部会	泉正文常務理事

	・国民体育大会医事部会	福林徹氏
専門委員会	生涯スポーツ推進専門委員会	森正博副会長
	スポーツ医・科学専門委員会	福林徹氏
	指導者育成専門委員会	監物永三副会長
	国際交流専門委員会	渡邊康二理事
	広報・スポーツ情報専門委員会	田中道博理事
特別委員会	秩父宮記念スポーツ医・科学賞 選考委員会	森正博副会長
	倫理委員会	尾崎宏常務理事
	日本スポーツマスターズ委員会	松田光皖理事
	創立100周年記念事業準備 委員会	日比野弘顧問

(3) 平成21年度競輪公益資金補助金の内定について (岡崎専務理事)

平成21年度の公営競技等に対する補助金・助成金の要望については、平成20年度第7回理事会にて報告しているが、この度、競輪公益資金補助事業の補助金内定通知があり、内定額は、平成20年度に対し、99万3千円、0.4%減の2億2千5百96万3千円となった。

「国民体育大会実施事業」における「国体役員懇談会会場設営費」補助の打ち切り、「競技別スポーツ指導者養成事業」における「指導員養成講習会費」実施コース数の査定などによる減額となる中で、「日本スポーツマスターズ実施事業」においては、3百66万7千円増の7千4百70万7千円となった旨報告。

また、「スポーツ振興くじ」および「スポーツ振興基金助成金」については、内定作業が遅れていることから次回理事会で報告することを併せて報告。

2. 生涯スポーツ推進事業関係

・ 生涯スポーツ推進専門委員会規程の改訂について (森委員長)

3月11日開催の平成20年度第7回理事会において、総合型地域スポーツクラブ全国協議会の設立について報告していたが、全国協議会設立に伴い、去る3月23日開催の第2回生涯スポーツ推進専門委員会において、同委員会の規程を改訂した。

改訂の内容は、本会が全国協議会の活動支援をより積極的に行うため、生涯スポーツ推進専門委員会内に全国協議会を位置付けるものであり、新たに規程第3章第3条を設け、「全国に育成された地域住民による総合型地域スポーツクラブの定着・発展を促進するため、総合型クラブの円滑な運営に資する情報交換や交流の活性化を図り、もって生涯スポーツ社会の実現に寄与

することを目的とする総合型地域スポーツクラブ全国協議会を置く。」と追記改訂し、平成21年4月1日から施行した旨報告。

その他

(岡崎専務理事)

- ・ 2016年東京オリンピック・パラリンピック招致関係について
2016年の第31回オリンピック競技大会の開催地決定まであと半年となり、4月14日(火)から20日(月)までの7日間、国際オリンピック委員会評価委員会が東京都を視察する予定である。日本オリンピック委員会では、国際オリンピック委員会評価委員会を迎えるにあたり、我が国スポーツ界が一丸となった招致活動をアピールするため決起集会を予定している。本会の理事・監事に対しては、日本オリンピック委員会から、既に案内状が送付されていることから、決起集会に出来る限り多く出席願いたい旨を依頼。
- ・ 平成21年度事務局体制について
事務局全体を、従前同様、7部1室の体制で取り組むが、平成23年度に迎える本会100周年に関する記念事業への対応として、総務部内に100周年準備室を設置したことを報告。
- ・ 会議日程について
当初9月9日(水)開催予定であった第4回理事会を、9月2日(水)開催に変更する。
次回理事会は6月10日(水)14時から本会にて、また、平成21年度第1回評議員会は6月17日(水)14時から品川プリンスホテルで開催することを確認するとともに、評議員会終了後、秩父宮記念スポーツ医・科学賞表彰式を行うことを報告。
- ・ その他
竹田理事より、これまでの招致活動に対し謝辞が述べられるとともに、4月13日(月)に開催される「2016東京オリンピック・パラリンピック開催決定をめざす日本スポーツ界決起集会」への出席について依頼。
森会長より、国会決議などの2016東京オリンピック・パラリンピック招致活動にかかわる政府、国会における対応について報告。また、2015年および2019年ラグビーフットボールのワールドカップ招致活動に関する、政府、国会における対応についても報告。

以上の諸報告をいずれも了承し、14時35分閉会。